



令和2年度 新年度

令和2年7月15日

発行: アカ団だより編集委
大和、中村、長谷川

<< 新年度役員の抱負 >>



団長就任のご挨拶

団長 森脇 俊晴

この度、長崎アカデミー男声合唱団の団長に就任いたしました。

私は、平成13年2月に入団させていただき早8年を過ぎました。アカ団は長崎では有数の合唱団であります。多彩な顔ぶれで、毎週ごとに純粋に音楽、合唱を楽しみに集う姿を傍で拝見し、私も楽しく一緒に過ごさせていただいております。

長い歴史の間には紆余曲折もあったとお聞きしていますが、先輩方や、団員の皆様のご協力や、またご家族、合唱関係者のご理解もあって続いているのだと感じております。

さて、アカ団はコロナウィルス感染拡大の影響で今年の前半は、まったく活動ができていません。団員のみなさんも活動再開が待ちどろしいことと思います。

こうした状況下で、活動自粛の解除も視野に入る段階に来ました。最初の仕事として活動再開に向けて準備に入り、平常の活動を取り戻したいと考えております。

来年は創立50周年の年を迎えます。このため50周年記念コンサートの実行委員会も立ち上がり、いよいよ具体的な活動が始まります。平尾実行委員長を中心に実行委員の皆様のお力をいただき、今までと違った新しい環境の中で、様々な角度から検討を加えて、イベントができたらと考えております。

このため、今年度は準備の年として日頃の活動にも力を入れていきたいと思っております。

次に、団員の継続的な募集活動をこれまで以上に進めていきたいと考えています。毎年、新しい方々がアカ団に参加していただき、積極的にご協力いただいております。私もそうでしたが、人生の節目にまた違った世界を長崎の地で体験して見聞を広めることは、とても良いことと感じています。また個人的にもいろんな才能をお持ちの方が多いのにもいつも感心しています。

団員70名近くの規模は稀で、また活動を維持継続していくことは容易ではありません。人数の多さは、素人の私から見て、男声合唱の醍醐味のような気がしていますので大切にしていきたいと思っております。

最後に、団員の親睦も引き続き深めていきたいと考えております。

以上、役員会、選曲委員会の方々のご意見を踏まえて活発にアカ団の活動ができるよう、微力ではありますが精一杯の努力をして参ります。前任の西川氏と同様によりしくご協力をお願い申し上げます。



新年度役員抱負・希望

副団長兼50周年記念演奏会実行委員長
平尾 眞一

この度、副団長（再任）と兼ねて50周年記念演奏会の実行委員長を務めることになりました。団員歴5年の若輩の身で大役を仰せつかり抱負よりも不安が先立ちますが、実行委員の皆さんの力と知恵をお借りしてアカ団50周年のビッグイベントに取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

早速、6月6日に第1回実行委員会を開催しましたが、50周年演奏会への期待や思いを語りあう中、ステージ構成や選曲の具体的な提案も飛び出しています。詳しくは「実行委員会だより第1号」をご覧ください。

とは言え、最大の難関は新型コロナウイルスです。3月から練習休止となり7月半ばに練習を再開しますが、この4ヶ月余りのブランクは大きいですし、来年に向けてコロナの第2波、第3波の到来も危惧されます。これから演奏会のテーマ、ステージ構成・選曲案を早急に固めていきますが、「withコロナ」の中で感染防止対策を徹底しつつ如何に練習密度を上げるかが最大の課題です。

ブランクを取り戻しアカ団らしい重厚な響きと楽しいステージを作り上げるためにも自主練習やパート練習を活用し毎週の練習を充実する必要があります。団員皆さんの心と技を一つに束ねて50周年演奏会を成功させましょう！

<< 新入団員のごあいさつ >>

ベース 横川 清



昨年2月に入団しました。混声合唱の経験は45年以上前の学生時代に4年間ありますが、就職後は合唱をする機会もなく、以前はいつも口ずさんでいた歌もいつしか出なくなりました。

娘4人がひよこの会童謡合唱団で長くお世話になっていたのが、演奏会に行く機会は時々あり、その後も合唱に縁がなかった訳ではないのですが、職場の1年先輩でアカ団の大御所、長谷川さんがずっと合唱を続けられているのが気になりながらも現役時代は合唱する気持ちにはなれず、退職後にやっと合唱をまたやってみようと思いついて入団した次第です。

アカ団での練習は、学生時代に比べて練習時間が限られており、かといって進んで自宅で練習をするわけでもなく、加齢による記憶力低下と相まって暗譜に苦勞していますが、少しずつ経験を積んで曲のレパートリーを増やし、アカ団の戦力になっていければと思っています。早く人並みになりたいと思う中で、今年3月に予定されていた合唱の定番である第九とメサイアシンガロングの練習と演奏会がなくなってしまったのは大変残念でした。

練習後のひかり亭での懇談は、仲間と話す機会が少なくなった小生にとって楽しいひと時であり、これからもお付き合いよろしくお願いいたします。

セカンド 吉岡 仁



皆さん！こんばんは！改めて自己紹介させていただきます。

私、昨年8月にセカンドで入団させていただきました吉岡と申します。

2000年から2011年まで、宮崎大学の合唱サークル、男声合唱団、混声合唱団と渡り歩き、仕事と家庭環境の事情により、ぱったりと合唱活動を休止しておりました。

2018年に思い切って転職、長崎に帰郷いたしまして、新しい仕事に慣れ、早1年。余裕がでてきたところに何か始めたいと思ひまして、昔とった杵柄とばかりに、アカ団の門を叩かせて頂きました。以前は、バリトンを歌わせて頂いておりました！歌ってきた曲は定番の民謡、黒人霊歌、バーバーショップ、柳河、富士山などなど。清水脩先生、多田武彦先生の名曲には大変お世話になりました。

昨年は、私の結婚式があったため控え目な参加でしたが、再開後は、少しでもアカ団に貢献できますよう、微力を尽くす意気込みであります！

最後に少しでも広告を！私、メモリードに勤めております！「互助会に入りたい」「親族の結婚式をサポートしたい」「ガーデンテラスに泊まってみたい」などなど、ご入用ありましたらお気軽にお声をおかけください！

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

♪TBS-TV「音楽の日」出演を振り返り

ベース 堤 慶司



それは、ある日突然TBSのディレクターからの電話が入り、「当社のTV番組『音楽の日』へ合唱団として出演をお願いできないか？」との唐突な依頼でした。なぜ私に？と一瞬思いましたが、先ず番組企画書及び音源を早急に送付して欲しいことと、後日団の方から回答させてもらう旨を告げ、すぐにベースの長谷川さんに連絡。これ以降窓口を長谷川さんをお願いし、役員会・選曲委員会にて受諾決定。出演当日まで1か月足らずという中、加藤先生指導のもと練習開始。

番組の内容としては、安住紳一郎アナ・タレントの中居正広司会による音楽番組で全国数か所からの実況生中継で、長崎もその中の1か所でメインの歌手は、森山直太朗、そのバックコーラスを当アカ男が担当することとなりました。（アカ男は曲のサビの部分）

番組のロケーション場所は五島市の鬼岳山頂という素晴らしい場所が選定され、番組本番前日には、森山直太朗及び番組クルーも長崎入りし、NBCスタジオにて顔合わせ、リハーサル。終了後彼らは五島市へ移動、アカ男は当日朝一番のフェリーで五島市へ。

当日はあいにくの悪天候。風雨に晒されどうなることかと思いきや本番直前、突然雨・風がピタリと止み、あろうことか虹まで出現。カメラも周囲の素晴らしい景色を映し出し、無事本番も完璧に終了しました。

番組中他の中継先とは一味違う格調高いものとなったと（手前味噌）思います。アカ男はロケ終了後急ぎ波止場・福江港へ直行。あわただしい一日が終わりましたが、ロケ現場のクルーの皆さんの大変さが垣間見れたこと、等しい経験をさせていただきました。

後に、TBSとの窓口調整に奔走された長谷川さん並びに本番当日影の指揮にあられたトップの横田さん（映像に入らず申し訳ありません）・前日までの歌唱指導にあられた加藤先生に改めて感謝申し上げます。

この後、五島シリーズで上五島でのコンサートへと続く訳ですが、続きは別途の機会での感想とします。。。



追伸

いつの日かこのような機会がまた巡ってきたらアカ男をおおいにアピールしたいものです。



世界文化遺産登録記念コンサートIN上五島（2019.10.5）の思い出

トップ 益田 清

一昨年の12月に長崎交響楽団とジョイント「海の記憶」を演奏した後、来年は是非五島列島で、世界文化遺産登録を祝うコンサートを実施したいと提案しました。

理由としては、「海の記憶」が五島列島の海の美しさ、鯨との闘い、信仰を貫いた人々を歌った曲であり、また、離島では、日頃から音楽を聴いたりする機会も少なく私が団長を務めた平成27年、県より「長崎県地域文化章」を頂き、地域の皆様へ音楽で恩返し出来ればと言う思いもあったからです。



当初、離島でのコンサートは経験もなく、私が銀行員時代に勤務した上五島には教会や信者も多く、頭ヶ島教会群（新上五島町）が世界文化遺産に登録されたことから、候補地を決定し、ホールの予約や旅行者、カトリック大司教との交渉および地元の女声合唱団に協力をお願いするなど、奔走しました。

しかし、私が一番気がかりだったのが天候でした。波が3メートルを超えると欠航にな

るリスクがあり、コンサートの前後の週の土日は欠航でしたので、正直に運が良かったのか、おそらく神様が守ってくれたと思いました。

鯨賓館ホールには約200名のお客様が来られ、熱心に聴かれる方、涙をうかべる方、また、感動しましたなど、お褒めの言葉を沢山頂戴いたしました。

翌日の青砂ヶ浦教会のミニコンサートでは、前日の半数25名が参加して、神父さん信者の方、約60名の前で「祈りの歌」を演奏、いっしょに歌われる方、涙を拭きながらじっと聴かれる方など、男性の信者の方から「信仰心が強まりました」「有難う、また来て下さい」など、本当に大成功のコンサートでした。

最後に協力してくれた皆さんに感謝するとともに、40年ぶりに当時の女子行員と会えた事が良い思い出になりました。



思い出のin上五島演奏会

トップ 中村 信孝

趣味を楽しむ総勢50余名の一員として出演の機会を得た「in上五島演奏会」は一番の思い出である。偶々、当地は、終戦により引揚げてきて、小学2年生から高校卒業まで、育った懐かしい思い出のある上五島。

故郷を出るに当たって「♪志を果たして、いつの日にか還らん・・・！」と誓っての武者修行人生。この度は図らずも「ふるさと」での演奏会に恵まれ張り切った出演。

島を出てから60年余、知人も少なくなった中、内々にPRしての訪問に誰か来てくれるだろうか？と心配顔で下船のところ、「榎津の梅屋さ～ん」「中村さんってどの人？」の大歓迎に恥ずかし嬉し。演奏会ではヤンヤ！の喝采！アンコールの渦に呆然と立ち尽くしながら、こんな美しい島に「ふるさと」があること、幸せ～を感じました。

終わってからのロビーコンサートもなかなか余韻冷めやらず、加藤・岩永先生もendlessの指揮に心躍らせながら音楽って心が通うんだな～と思いながら、皆さんと力いっぱい熱唱。

その後、同級生が「歓迎の宴」を開いてくれ、学生時代の思い出話に花が咲き、中村さんって目立たない存在だったのに、「今、輝いている・・・！」の感想に嬉しく思いました。



一万歩の呪縛

バス 近藤 明允

携帯のガラケーをスマホにかえて久しいが、操作も少しずつ覚えてきた。その中に一日の歩数記録を見つけた。＼＼老化は足から＼＼の言葉に押され試してみることにした。ウォーキングの途中顔見知りの方との挨拶、また通りの家の庭がきれいに手入れされ、感心することが多い。自然の移ろいの早さを感じながらのウォーキングである。

若い頃は、ラグビーや、登山に熱中して足腰に自信はあったが、七十歳を前に大きな手術をくりかえしてきた。よく、ここまで元気になったこと唯々今があることに感謝している。毎日一万歩のウォーキングを目標にしているが、達成後はなんともいえぬ満足感があり、渴いた喉に潤う一杯のビールはまた格別である。時には目標に届かない日もある。その時は、家の前の道路を往来、やっと達成の数字に満足する。数字にこだわるのがおかしいのか、妻に笑われることしばしばである。

雨が降ると机上の楽譜等々に目を通し、齢、八十五のわが身も何かと忙しい。これからは、身体面での喪失が多くなるばかりで、スマホの歩数計といつまで付き合えるかが問題である。

世の中を一変させたコロナに気を付け、来たる、アカ団五十周年の舞台に立つことを願って、今日も一万歩の呪縛を楽しみたいと思う。



アカ団さん もっとハモろうよ

名誉指揮者 高林 弘

新型コロナの第二段階はまだまだ続くようですが、アカ団はこれから第何十段階に入るのでしょうか。

ところで、アカ団の指揮者を降りてからは、加藤先生、岩永先生の指揮に合わせて、毎回楽しく歌っていますが、ひとつ気になるのはアカ団がこの頃ハモらなくなってきたことです。何人かの方々の「もう高林が云ったことなんか気にしなくていいんだ」という歌い方が気にかかります。

名誉指揮者として岩永先生にお願いします。アカ団に佐々木基之先生の「和音感訓練」をぜひお願いします。ハモるようになるのに数年間はかかるでしょう。



アープホールも遠のき、徒然なるままに川柳などを...

バリトン 鎌田 正憲

*見えない脅威、西方より襲来：

⇒ 日常の 有り難さ知る コロナ来て

⇒ コロナ来て 息をひそめて **引き籠り**

*土砂降りの中、福江で山登り（TBSテレビ「音楽の日」生出演）：

⇒ 厳しさは 鬼岳よりも **直太朗**

⇒ リハーサル スタイリストが **髪セット**

*世界文化遺産登録記念コンサート：

⇒ 引率者 **熱き思いの** 上五島

⇒ 聖歌聴く 信者の目にも **光る粒**

*アカ団創立50周年まで、あと一年：

⇒ **荒波**を 乗り越えアカ団 半世紀

<< 平成30年12月 ~ 令和元年12月 ステージ写真記録 >>

2018. 12. 9 長響第92回定期演奏会 「海の記憶」 オケ版演奏



2019. 3. 24 加藤豊先生退任記念コンサート



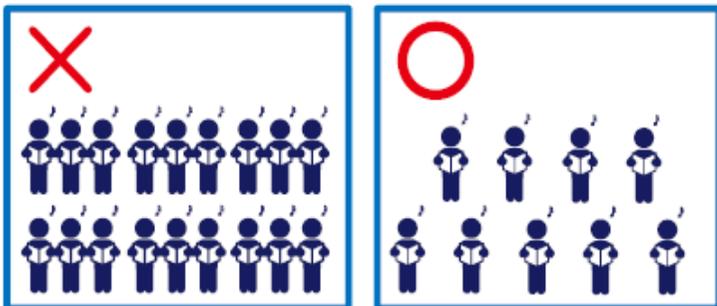
2019. 12. 9 25周年記念 長崎ボランティア協会 ふれあいコンサート



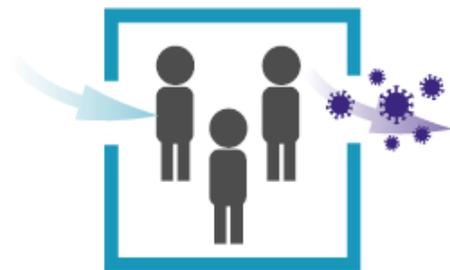
合唱活動時の新型コロナウイルス感染防止対策

利用施設

- ① 概ね収容定員の50%以下の人数を目安に。
収容定員20名の場合 … 10名までの利用が望ましい



- ② 窓の開放が可能であること。もしくは、
機械換気により必要換気量が確保できること。



- ③ 感染予防対策が徹底されていること。



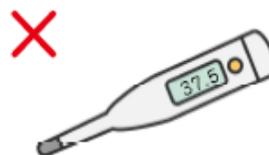
合唱活動時の新型コロナウイルス感染防止対策

日常の対策

- ① 名簿の管理

- ② 体調の管理 過去14日以内で、以下に該当する項目があれば、
出席しないようにしましょう。

- ① 平熱を超える発熱



- ④ 嗅覚や味覚の異常



- ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状



- ⑤ 体が重い、疲れやすい



- ③ だるさ、息苦しさ



- ⑥ 感染症陽性者との濃厚接触

- ⑦ 感染の疑いがある同居家族・
知人がいる

- ⑧ 過去14日以内に、入国制限、
入国後の要観察期間地域への
渡航、または当該在住者との
濃厚接触がある

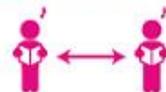
練習当日の対策Ⅱ

③ 練習時

- ① 団員の距離は前後2m以上、左右1m以上を確保しましょう。また、向かい合う配置は避けましょう。
- ② 指導者・伴奏者と団員との距離は、適切な距離を確保しましょう。
- ③ 座っている団員と立っている団員が混在しないようにしましょう。
- ④ 咳エチケットを実践しましょう。
- ⑤ マスクは飛沫拡散防止の効果があるため、着用を推奨します。
- ⑥ 身体的な接触をしないようにしましょう。
- ⑦ 連続した練習時間は30分以内とし、5分以上の換気を行きましょう。
- ⑧ 楽譜やプリント類の共有は避けましょう。

④ 休憩時

- ① マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ② 人との間隔を1m以上離し、会話はなるべく控えましょう。
- ③ 飲食物の共有は避けましょう。
- ④ 窓と出入り口を開放し、換気を行きましょう。



⑤ 練習後

- ① 出席者をチェックし、名前を控えておきましょう。
- ② 退場時に密集しないよう、分散退場策を講じましょう。
- ③ マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ④ 連絡やミーティングは可能な限り書面やオンラインで行いましょう。
- ⑤ 会食等は控えましょう。

練習当日の対策Ⅰ

① 会場設営・撤収

- ① 椅子や譜面台等備品の搬出入・設置は、予め時間と人員を設定し、十分な時間をもって設営を行きましょう。
- ② マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ③ 設置後、備品の消毒を行きましょう。ピアノは専用クリーナーの使用を！
- ④ 設営前後・撤収後に手洗いをしましょう。



② 会場入場時

- ① 密集しないよう、分散入場策を講じましょう。
- ② 窓と出入り口を開放し、換気を行きましょう。
- ③ マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ④ 入場前に手洗いをしましょう。
- ⑤ 人との間隔を1m以上離し、会話はなるべく控えましょう。
- ⑥ 楽譜類は手から手への配布を避け、回覧はしないようにしましょう。
- ⑦ 会場内での飲食は控えましょう。

